令和4年度上半期の奥州市病院事業の業務状況

令和4年度上半期（4月～9月実績）の奥州市病院事業の業務状況（事業概況及び経理状況）をお知らせします。

1 事業の概況

(1) 診療日数

	上半期	下半期（予定）	合計
入院	183日	182日	365日
外来	122日	121日	243日

入院及び外来診療日数は上記の通りです。前沢診療所、衣川診療所の外来診療日数は、休診日があったことによりそれぞれ118日、121日でした。

(2) 病床数（令和4年9月30日現在）

	一般病床	感染症病床	計
総合水沢病院	145床	4床	149床
まごころ病院	48床	0床	48床
前沢診療所	（休床）19床	0床	（休床）19床
衣川診療所	19床	0床	19床
衣川歯科診療所	0床	0床	0床
合計	231床	4床	235床

9月30日現在の病床数は年度当初の予定と変わらず全体で235床となっています。

ただし、前沢診療所は入院診療を休止、総合水沢病院は50床を休床としているため稼働している病床は全体で166床です。

(3) 患者数

（単位：人、％）

		予定 患者数 ①	上半期 実績 ②	上半期 執行率 ②/①=③	上半期 一日平均 ④	年間患者 数(見込) ⑤	年間執行 率(見込) ⑤/①=⑥
総合水沢病院	入院	21,900	7,282	33.3	39.8	16,425	75.0
	外来	60,060	31,090	51.8	254.8	63,705	106.1
	計	81,960	38,372	46.8	294.6	80,130	97.8

まごころ病院	入院	12,410	6,119	49.3	33.4	12,410	100.0
	外来	45,310	19,704	43.5	161.5	42,170	93.1
	計	57,720	25,823	44.7	194.9	54,580	94.6
前沢診療所	入院	—	—		—	—	
	外来	7,290	3,486	47.8	29.5	7,300	100.1
衣川診療所	入院	1,825	606	33.2	3.3	1,825	100.0
	外来	12,150	4,343	35.7	35.9	11,000	90.5
	計	13,975	4,949	35.4	39.2	12,825	91.8
衣川歯科診療所	外来	6,075	2,450	40.3	20.1	4,900	80.7
合 計	入院	36,135	14,007	38.8	76.5	30,660	84.8
	外来	130,885	61,073	46.7	501.9	129,075	98.6
	計	167,020	75,080	45.0	592.8	159,735	95.6

※1 外来の患者数には、訪問看護件数を含んでいます。

※2 予定患者数①は当初予算、年間患者数(見込)⑤は12月補正後予算の予定量としています。

上半期の患者数は入院14,007人、外来61,073人、合計75,080人でした。

予定患者数に対する執行率は入院38.8%、外来46.7%と半数に満たない状況となっています。

入院は総合水沢病院において新型コロナウイルス感染症患者受入のための空床確保を行っていることや、感染拡大による診療制限を行ったことなどが影響し低率となっていますが、外来は発熱外来受診者が増加しており予定患者数を若干下回るものと見込んでいます。

2 経理の状況

※1 収入、支出の内訳等の詳細は「令和4年度上半期の奥州市病院事業の業務状況詳細」をご覧ください。

※2 予算額①は当初予算、決算見込額④は12月補正後予算の額としています。

(1) 収益的収入及び支出の状況

(単位：千円、%)

		予算額 ①	上半期実績 ②	上半期 執行率 ②/①=③	決算見込額 ④	年間執行率 (見込) ④/①=⑤
収 入	医業収益 A	2,788,136	1,321,706	47.4	2,759,702	99.0
	医業外収益 B	1,236,054	732,427	59.3	1,723,549	139.4
	訪問看護事業収益C	69,923	32,096	45.9	69,923	100.0
	訪問看護事業外収益 D	26	7	26.9	26	100.0
	特別利益 E	10	471	4710.0	10	100.0
	計 F	4,094,149	2,086,707	51.0	4,553,210	111.2
支 出	医業費用 G	4,316,218	1,824,705	42.3	4,402,394	102.0
	医業外費用 H	34,562	14,051	40.7	37,553	108.7
	訪問看護事業費用 I	82,658	32,318	39.1	83,432	100.9
	特別損失 J	3,038	1,082	35.6	3,038	100.0
	予備費 K	2,100	0	0.0	2,100	100.1
	計 L	4,438,576	1,872,156	42.2	4,528,517	102.0
医業損益 (A-G)		△1,528,082	△502,999	32.9	△1,642,692	107.5
訪問看護事業損益(C-I)		△12,735	△222	1.7	△13,509	106.1
経常損益(A+B+C+D)-(G+H+I)		△339,299	215,162	△63.4	29,821	△8.8
純損益(F-L)		△344,427	214,551	△62.3	24,693	△7.2

収益的収支の上半期実績は収益的収入が2,086,707千円、収益的支出が1,872,156千円となりました。予算に対する執行率は収益的収入51.0%、収益的支出42.2%と、概ね予算で見込んだ収支見通しのおりとなっています。

収益的収入のうち医業収益については、1(3)患者数に記載したとおり入院患者数が伸び悩んでいますが、診療報酬改定や感染対策に係る加算等の影響により診療単価が増加しているため、前年度実績を超えるものと見込んでいます。年間の収入見込み額は4,094,149千円としていますが、前年度に引き続き総合水沢病院が新型コロナウイルス感染症に対する重点医療機関指定を受けることになり、補助金が交付されることから、前年度実績(5,013,983千円)に近い収入額になると推定しています。

収益的支出の年間支出見込み額は前年度を超えるものと見込んでいますが、これは燃料費、原材料価格の高騰が続いていること、発熱外来患者の増に比例し医薬材料費の支出が増えていることが要因

として挙げられます。

今後の収支には新型コロナウイルスの感染状況が大きく影響を及ぼしますが、医業収益の伸びと重点医療機関補助金等の国県補助金交付額を加味すると、令和4年度決算も経常利益を計上できるものと見込んでいます。しかし、本業である医業損益は依然として赤字であり、その額も増大傾向にありますので、引き続き医師確保を始め、収益確保につながる対策を実施してまいります。

《参考》

各施設の収益的収入及び支出の状況

※ (1)に記載した予算額等は病院事業会計全体（管理部門経費を含む）であるため、各施設を合算した金額等とは一致しません。

【総合水沢病院】

(単位：千円、%)

		予算額	上半期実績	上半期 執行率	決算見込額	年間執行率 (見込)
		①	②	②/①=③	④	④/①=⑤
収 入	医業収益 A	1,657,800	804,513	48.5	1,645,259	99.2
	医業外収益 B	648,511	389,655	60.1	1,120,004	172.7
	訪問看護事業収益C	59,401	28,018	47.2	59,401	100.0
	訪問看護事業外収益 D	17	2	11.8	17	100.0
	特別利益 E	1	23	2,300.0	1	100.0
	計 F	2,365,730	1,222,211	51.7	2,824,682	119.4
支 出	医業費用 G	2,569,622	1,099,642	42.8	2,613,669	101.7
	医業外費用 H	8,280	4,636	56.0	13,271	160.3
	訪問看護事業費用 I	68,306	26,394	38.6	69,140	101.2
	特別損失 J	1,601	941	58.8	1,601	100.0
	予備費 K	800	0	0.0	800	100.0
	計 L	2,648,609	1,131,613	42.7	2,698,481	101.9
医業損益 (A-G)		△911,822	△295,129	32.4	△968,410	106.2
訪問看護事業損益 (C-I)		△8,905	1,624	△18.2	△9,739	109.4
経常損益 (A+B+C+D)-(G+H+I)		△280,479	91,516	△32.6	128,601	△45.9
純損益 (F-L)		△282,879	90,598	△32.0	126,201	△44.6

【まごころ病院】

(単位：千円、%)

		予算額	上半期実績	上半期 執行率	決算見込額	年間執行率 (見込)
		①	②	②/①=③	④	④/①=⑤
収 入	医業収益 A	793,978	379,294	47.8	777,675	97.9
	医業外収益 B	237,431	156,612	66.0	242,544	102.2
	訪問看護事業収益C	10,522	4,079	38.8	10,522	100.0
	訪問看護事業外収益 D	9	5	55.6	9	100.0
	特別利益 E	3	2	66.7	3	100.0
	計 F	1,041,943	539,992	51.8	1,030,753	98.9
支 出	医業費用 G	1,072,056	453,633	42.3	1,089,392	101.6
	医業外費用 H	14,589	4,123	28.3	13,089	89.7
	訪問看護事業費用 I	14,352	5,924	41.3	14,292	99.6
	特別損失 J	963	2	0.2	963	100.0
	予備費 K	100	0	0.0	100	100.0
	計 L	1,102,060	463,682	42.1	1,117,836	101.4
医業損益 (A-G)		△278,078	△74,339	26.7	△311,717	112.1
訪問看護事業損益(C-I)		△3,830	△1,845	48.2	△3,770	98.4
経常損益(A+B+C+D)-(G+H+I)		△59,057	76,311	△129.2	△86,023	145.7
純損益(F-L)		△60,117	76,311	△126.9	△87,083	144.9

【前沢診療所】

(単位：千円、%)

		予算額	上半期実績	上半期 執行率	決算見込額	年間執行率 (見込)
		①	②	②/①=③	④	④/①=⑤
収 入	医業収益 A	70,481	35,192	49.9	73,599	104.4
	医業外収益 B	122,773	51,170	41.7	123,709	100.8
	訪問看護事業収益C	0	0	-	0	-
	訪問看護事業外収益 D	0	0	-	0	-
	特別利益 E	2	0	0.0	2	100.0
	計 F	193,256	86,362	44.7	197,310	102.1
支 出	医業費用 G	185,033	80,541	43.5	189,031	102.2
	医業外費用 H	7,144	3,666	51.3	7,294	102.1
	訪問看護事業費用 I	0	0	-	0	-

	特別損失 J	301	121	40.2	301	100.0
	予備費 K	500	0	0.0	500	100.0
	計 L	192,978	84,328	43.7	197,126	102.1
医業損益 (A-G)		△114,552	△45,349	39.6	△115,432	100.8
訪問看護事業損益 (C-I)		-	-	-	-	-
経常損益 (A+B+C+D)-(G+H+I)		1,077	2,155	200.1	983	91.3
純損益 (F-L)		278	2,034	731.7	184	66.2

【衣川診療所】

(単位：千円、%)

		予算額	上半期実績	上半期 執行率	決算見込額	年間執行率 (見込)
		①	②	②/①=③	④	④/①=⑤
収 入	医業収益 A	201,140	72,983	36.3	182,783	90.9
	医業外収益 B	146,090	89,517	61.3	156,536	107.2
	訪問看護事業収益 C	0	0	-	0	-
	訪問看護事業外収益 D	0	0	-	0	-
	特別利益 E	2	435	21750.0	2	100.0
	計 F	347,232	162,935	46.9	339,321	97.7
支 出	医業費用 G	347,289	134,089	38.6	354,904	102.2
	医業外費用 H	3,382	1,307	38.6	2,982	88.2
	訪問看護事業費用 I	0	0	-	0	-
	特別損失 J	151	18	11.9	151	100.0
	予備費 K	500	0	0.0	500	100.0
	計 L	351,322	135,414	38.5	358,537	102.1
医業損益 (A-G)		△146,149	△61,106	41.8	△172,121	117.8
訪問看護事業損益 (C-I)		-	-	-	-	-
経常損益 (A+B+C+D)-(G+H+I)		△3,441	27,104	△787.7	△18,567	539.6
純損益 (F-L)		△4,090	27,521	△672.9	△19,216	469.8

【衣川歯科診療所】

(単位：千円、%)

		予算額	上半期実績	上半期 執行率	決算見込額	年間執行率 (見込)
		①	②	②/①=③	④	④/①=⑤
収 入	医業収益 A	58,291	29,723	51.0	55,220	94.7
	医業外収益 B	34,722	15,472	44.6	41,475	119.4
	訪問看護事業収益C	0	0	-	0	-
	訪問看護事業外収益 D	0	0	-	0	-
	特別利益 E	2	11	550.0	2	100.0
	計 F	93,015	45,206	48.6	96,697	104.0
支 出	医業費用 G	89,395	34,918	39.1	91,101	101.9
	医業外費用 H	1,017	318	31.3	767	75.4
	訪問看護事業費用 I	0	0	-	0	-
	特別損失 J	22	0	0.0	22	100.0
	予備費 K	200	0	0.0	200	100.0
	計 L	90,634	35,236	38.9	92,090	101.6
医業損益 (A-G)		△31,104	△5,195	16.7	△35,881	115.4
訪問看護事業損益 (C-I)		-	-	-	-	-
経常損益 (A+B+C+D)-(G+H+I)		2,601	9,959	382.9	4,827	185.6
純損益 (F-L)		2,381	9,970	418.7	4,607	193.5

(2) 資本的収入及び支出の状況

(単位：千円、%)

		予算額	上半期実績	上半期 執行率	決算見込額	年間執行率 (見込)
		①	②	②/①=③	④	④/①=⑤
収 入	企業債	2	0	0.0	0	0.0
	出資金	152,337	113,200	74.3	188,863	124.0
	固定資産売却代金	1	0	0.0	1	100.0
	国県補助金	2	946	47,300.0	40,278	2,013,900.0
	計	152,342	114,146	74.9	229,142	150.4
支 出	建設改良費	62,783	11,548	18.4	189,375	301.6
	企業債償還金	154,587	76,802	49.7	154,587	100.0
	投資	30,800	18,000	58.4	25,200	81.8
	計	248,170	106,350	42.9	369,162	148.8

資本的収支の上半期実績は、資本的収入が114,146千円、資本的支出が106,350千円となりました。

収入の大半を占める出資金は一般会計からの繰入金で、年3～4回に分けて定期的に繰入れています。国県補助金は予算額を超える収入となりましたが、これは感染症対策用医療機器の整備に対し新型コロナウイルス感染症対策補助金の交付が受けられることになったことによります。これ以外にも補助金の活用が見込めることから、資本的収入全体では年間229,142千円の収入を見込んでいます。

支出は、総合水沢病院及びまごころ病院においてMRI（磁気共鳴断層診断装置）の導入（更新）を予定しているほか、経年劣化している各種医療機器の更新を行うため前年度の2倍ほどの369,162千円の支出になると見込んでいます。

《参考》

各施設の資本的収入及び支出の状況

※（2）に記載した予算額等は病院事業会計全体（管理部門経費を含む）であるため、各施設を合算した金額等とは一致しません。

【総合水沢病院】

（単位：千円、％）

		予算額	上半期実績	上半期 執行率	決算見込額	年間執行率 (見込)
		①	②	②/①=③	④	④/①=⑤
収 入	企業債	0	0	-	0	-
	出資金	16,835	5,000	29.7	51,913	308.4
	固定資産売却代金	0	0	-	0	-
	国県補助金	1	946	94,600.0	39,557	3,955,700.0
	計	16,837	5,946	35.3	91,471	543.3
支 出	建設改良費	27,694	10,023	36.2	146,425	528.7
	企業債償還金	7,841	3,875	49.4	7,841	100.0
	投資	0	0	-	0	-
	計	35,535	13,898	39.1	154,266	434.1

【まごころ病院】

(単位：千円、%)

		予算額	上半期実績	上半期 執行率	決算見込額	年間執行率 (見込)
		①	②	②/①=③	④	④/①=⑤
収 入	企業債	0	0	-	0	-
	出資金	43,819	40,000	91.3	47,080	107.4
	固定資産売却代金	0	0	-	0	-
	国県補助金	1	0	0.0	1	100.0
	計	43,820	40,000	91.3	47,081	107.4
支 出	建設改良費	22,220	715	3.2	23,221	104.5
	企業債償還金	63,216	31,361	49.6	63,216	100.0
	投資	0	0	-	0	-
	計	85,436	32,076	37.5	86,437	101.2

【前沢診療所】

(単位：千円、%)

		予算額	上半期実績	上半期 執行率	決算見込額	年間執行率 (見込)
		①	②	②/①=③	④	④/①=⑤
収 入	企業債	0	0	-	0	-
	出資金	37,640	30,000	79.7	38,329	101.8
	固定資産売却代金	0	0	-	0	-
	国県補助金	0	0	-	0	-
	計	37,640	30,000	79.7	38,329	101.8
支 出	建設改良費	0	314	-	689	-
	企業債償還金	56,523	28,116	49.7	56,523	100.0
	投資	0	0	-	0	-
	計	56,523	28,430	50.3	57,212	101.2

【衣川診療所】

(単位：千円、%)

		予算額	上半期実績	上半期 執行率	決算見込額	年間執行率 (見込)
		①	②	②/①=③	④	④/①=⑤
収 入	企業債	1	0	0.0	1	100.0
	出資金	18,868	10,000	53.0	21,966	116.4
	固定資産売却代金	0	0	-	0	-
	国県補助金	0	0	-	0	-
	計	18,869	10,000	53.0	21,967	116.4
支 出	建設改良費	12,869	495	3.8	17,599	136.8
	企業債償還金	20,088	10,002	49.8	20,088	100.0
	投資	0	0	-	0	-
	計	32,957	10,497	31.9	37,687	114.4

【衣川歯科診療所】

(単位：千円、%)

		予算額	上半期実績	上半期 執行率	決算見込額	年間執行率 (見込)
		①	②	②/①=③	④	④/①=⑤
収 入	企業債	1	0	0.0	1	100.0
	出資金	4,375	3,000	68.6	4,375	100.0
	固定資産売却代金	0	0	-	0	-
	国県補助金	0	0	-	720	-
	計	4,376	3,000	68.6	5,096	116.5
支 出	建設改良費	0	0	-	1,441	-
	企業債償還金	6,919	3,448	49.8	6,919	100.0
	投資	0	0	-	0	-
	計	6,919	3,448	49.8	8,360	120.8

3 用語解説

* 収益的収入及び支出（収益的収支）

企業の経営活動に伴い発生する収入と支出。

病院事業の場合は診療に対する自己負担金や保険者負担（診療報酬）が主な収入であり、診療行為を行う医療従事者の人件費や医薬材料費、施設の維持管理経費などが主な支出にあたる。現金の支出を伴わない減価償却費なども収益的支出に計上される。

* 資本的収入及び支出（資本的収支）

施設の改良や医療機器の購入などの建設改良に要する支出と、それに対する収入。

* 本部費配賦額

診療行為を行わない管理部門（経営管理部）の収支を均衡させるため、各病院・診療所が負担する経費。各病院診療所側は費用として経営管理部へ支出し、経営管理部は同額を収入するもの。

* 減価償却費

医療機器や建物などの固定資産は使用期間が長期間に渡るため、法律によって定められた使用年数（耐用年数）で割って1年毎の費用を計算し、毎年費用として計上するもの。

* 資産減耗費

病院が持っている固定資産が劣化などにより使用できなくなり廃棄する場合、減価償却が終わっていない部分を資産から除くための費用（固定資産除却費）と、薬品などの貯蔵品が破損などにより使用できなくなった場合、帳簿から除く際の費用（たな卸し資産減耗費）。

* 企業債

医療機器の購入等のために行った借金。医療機器は使用効果が複数年に渡るため、負担の平準化を図る効果もある。